

会議録

会議の名称	令和4年度 第2回福津市郷づくり推進協議会代表者会議	
開催日時	令和4年7月22日(金)14:00~15:30	
開催場所	市役所別館1階 大ホール	
委員	勝浦：天野 保章、荻原 哲夫 津屋崎：御厨 忠男、坂口 勝繁 宮司：坂根 康廣、梅野 邦彦 福間：佐伯 美保、梅谷 寧次 神興：富松 享一、山西 祐司 上西郷：畑 清喜 神興東：奥 弘子、樋口 英典 福間南：石橋 和義	
専任事務局員	勝浦：花田孝信 宮司：三原道雄 神興：君嶋久美子 福間：廣渡策生 上西郷：村井弥生 神興東：中里恵子 福間南：宮本清子	
市	原崎市長(欠席) まちづくり推進室：石井参事	
事務局	まちづくり推進室：香田理事、向井係長、折居	
会議	内容	1. 市長あいさつ 2. 依頼・説明事項 「福津市共働推進会議」の進捗状況及び「郷づくり事業」に関するアンケート結果の報告について(まちづくり推進室) 3. その他
	配付資料	<input type="checkbox"/> 「福津市共働推進会議」の進捗状況及び「郷づくり事業」に関するアンケート結果の報告について

会議内容(要点)

1. 市長あいさつ
(欠席)

2. 依頼・説明事項

「福津市共働推進会議」の進捗状況及び「郷づくり事業」に関するアンケート結果の報告について
(まちづくり推進室)

まちづくり推進室が、「福津市共働推進会議」の進捗状況及び「郷づくり事業」に関するアンケート結果について説明した。

(会長)

前回の会長会議の際、資料は事前配布し、読み込んできたほうが質問等がスムーズにできるだろうとのことであったため、今回は資料を事前配布としている。アンケート結果に関しては、各郷づくりで共通している部分もあれば、異なる部分もあり、参考になったり、考えさせられたりした。資料について補足や説明が必要な方がいらっしゃれば発言いただきたい。

(委員)

第1回共働推進会議の内容について教えていただきたい。郷づくり基本構想の中で、郷づくりの課題が挙げられているが、こういった課題に対して、この4年間、市や郷づくり、自治会がどういった取り組みをしてきた、またそれをどう評価するかというような検証はされたのか。

(まちづくり推進室)

委員の中には、郷づくりに詳しいかたとそうでないかたがいる。第1回では、郷づくりの仕組みや役割についての説明、基本構想に沿ってではないが、こういう課題があるという説明を事務局から行った。また、地域づくりに携わっているかたからのご意見等をいただいた。

(委員)

具体的に取り組んできたことをつかみ、整理されているかということを知りたい。基本構想策定から4年経過しているのであれば、何も成されていないことはないわけで、こういう結果が出た、郷づくりはこういうふうになっている、ここは問題があるということ整理しなければ、次のステップに上がれないと思う。

(まちづくり推進室)

第1回では概要や郷づくりの説明にとどめており、8月5日の第2回から実際に審議に入っていく中で含めていく予定である。

(委員)

第1回では検討していないが、今後はどういうことをやってきたかという検証をしていく、という理解でよいか。その検証を踏まえて構想を見直していくという理解でよいか。

(まちづくり推進室)

おっしゃるとおり。

(会長)

私も共働推進会議のメンバーであり、今の質問のことを考えてみたが、第1回の会議では、具体的な郷づくりの課題について、こちらから投げかけることができなかつた気がする。もう少しこちらでまとめて、共働推進会議に投げかけるのは必要であったと思う。2か月に1度代表者会議も行われているが、連絡事項がほとんどで、郷づくりの根本的なことについて話せていない状況であるので、郷づくり側

でも整理する必要があると思う。

(委員)

5つの課題について検討したうえで見直しをするべきではないかという意見を、2月の代表者会議でした際、石井さんの回答では、「最後に基本構想で出ている課題についてだが、現在の基本構想には目標の達成期間であったり、達成の指標設定などを盛り込んでおらず、課題というものがいつまでに解決できればいいのかという設定が明確にできていない。従って、課題について検討はできない。」と言われた。今、代表者会議のほうから、検討が必要ではないかという意見が出ているため、ぜひそういう意見を踏まえ、事務局のほうで改めて検討をお願いしたい。

(まちづくり推進室)

確かに前年度の最後の会議でそのような回答をさせていただいた。審議会のほうでは、このままの施策、課題という形の表記でいいのかということを含め、これから審議していく。基本的には、基本構想の最初のページから順を追うような形で審議会を進めていくため、実際に、課題、施策というところに来る前には、事務局の整理をしっかりとしてから、委員の皆様、代表者会議の皆様にも経過を説明していかなければいけないと思っている。

(委員)

共働推進会議は、代表者会議と交互に行う形で、代表者会議からの意見等も反映されながら進められていくイメージである。基本構想の9ページに交付金制度についてとあるが、交付金の算定基準について、昨年度も福間郷づくり推進協議会からは、算定基準の見直しをしてほしいという要望をしていた。また、本年度の5月23日に福間郷づくり推進協議会から原崎市長と香田室長に対し、具体的にこのように是正してほしいといった内容で要望書を提出したところである。しかし、代表者会議での具体的な意見や、こういった要望書が出ている状況が、あまり共有されていないように思うがどうか。

(会長)

要望書が提出されていることは存じ上げていなかった。

(委員)

要望書については、役員とも協議を重ねており、代表者会議でも公平化を要望してきたものである。共働推進会議を進めていくにあたり、代表者会議で出た意見や具体的な要望書についても尊重していただきたい。要望書は、福間郷づくり推進協議会から正式に提出しているものでもあり、公平な視点での算定基準に基づいた交付金の予算化がなされることは、各郷づくりの活動が活発に推進されていくための基本的なところだと思う。共働推進会議で、そのような声はあまり反映されていないように感じるため、代表者会議と連動しながら、よりよい郷づくりに向けて、是正されるべきところは是正されていくことが望ましいのではないか。

(会長)

今後の共働推進会議のほうで、郷づくりの運営のことなども出てくるのではないと思う。第1回の共働推進会議では具体的な審議は行われていないため、委員がおっしゃったことなどは、今後話していくことになると思う。

(まちづくり推進室)

共働推進会議の委員のみなさんも、地域の実情を知りたいとおっしゃっていたため、実際にこういった意見が代表者会議で出たという情報共有は随時行っていきたいと思う。第1回でその点が入っておらず申し訳なかった。

(会長)

始まったばかりの会議であるが、会議の結果が何のために話したのかとなつては意味がないため、協議会の要望や意見を反映していかなければいけない。現段階で、こういう意見や要望を反映させてほし

ということがあれば伺いたい。

(委員)

会議録の7ページの会長の発言に、「高齢化が進んでいて担い手が少ないという意見もあるかもしれないが、福津市全体で見ると若い人も多く、まだまだ元気な地域なので、自治会がすでに限界であるという意識は農村部に比べて弱いのではないか。地域として防災や福祉は重要ではあるが、なかなかそれで地域としてまとまっていくことについては必然性が見えてこないの、今後の課題なのではないかと考えている。」とあるが、「福津市全体で見ると」というふうに抽象化されてしまうと、具体的に構成する各郷づくりの立地基盤や実情が捨象されてしまうのではないかと思う。せっかく2年かけて共働推進会議を行うわけであるから、実のある会議にしていきたい。そのためには、各郷づくりの実情、例えば勝浦であれば、農村部であり少子高齢化が進んでいるが、一方福間や宮司では人口も多く比較的若い方も多い。また、自治会との関係もいろいろある。こういった実情を事細かに、共働推進会議に伝えていただけないと、一面的な表層をなぞるだけの見直しになってしまうと、非常にもったいない。そういった意味で、この代表者会議で出された意見も重要であるが、共働推進会議のなかで、事務局が、各郷づくり地域の実情を補正、補足していただくことが非常に重要になると思う。

(まちづくり推進室)

第1回の共働推進会議の際に、福津市全体の現状は伝えており、地域差があるということは言葉では伝えているが、実態として事務局が示しきれなかった部分があるため、第2回の共働推進会議の中で、福津市全体ではこういう感じだが、地域によってこれだけ現状が違うということを押さえたいうえで進めていこうと思う。また、課題については、郷づくり計画に地域のビジョン等がはっきり載っているため、こういう郷づくり計画に基づいて、各地域は活動されているということも踏まえたいうえで進めていこうと思っている。

(会長)

共働推進会議のメンバーとして、郷づくりの実情なども折に触れて、伝えていけたらと思う。郷づくりからは3名が委員として入っている。みなさんも、どんなメンバーでしているのだろうと思われると思うので、昨日の打ち合わせの際、共働推進会議の会長も、何かの機会にこの場に来ていただけたらいいなという話をしている。

(委員)

議事録を見ると、見直しという言葉が頻繁に出てくるが、基本構想のどこを見直す予定であるのか、今答えられることがあれば教えていただきたい。

(まちづくり推進室)

構想というものになるため、短期間に抜本的にひっくり返すような類のものではないと事務局では考えている。課題になっているところについて、加筆や修正できる部分があれば改めていこうと思う。

(委員)

基本構想1ページ目の(2)基本構想の目的に、市が期待する郷づくり地域の役割を体系的にするということであるので、今も市は郷づくりに対する期待があるということだと思うが、どういう期待があるのか。あまり郷づくりに伝わっていないような気がし、それで立ち位置が鮮明になっていないという気がする。また、先ほど天野委員が言われた、会議録の「市全体で見ると若い人も多くまだまだ元気な地域なので」の部分でいうと、福間南のある自治会が、自治会長を決める際に、20名ほど自治会を退会されたそう。確かに若い人は多いが、それなりの問題もある。ほかの地域もそうだと思うが、郷づくりや自治会にあまり関心がないというのが現状だろうと思う。特に高齢者福祉というのは、若い人はあまり頭の中に入らないのかなと思うが、福津市は災害が少ないということもあり、防災で投げかけても意識があまりない。特に福間南と福間地域は水没地域もかなりあるようなので、防災の部分について皆さんにPRはしているがなかなか浸透がない。ぜひこうした各郷づくりの問題点を共働推進会議に伝えていただきたいと思う。

(委員)

資料の会議録を読むと、各委員さんが様々なところで課題をたくさん出してくれている。会議録の最後の一行に「そのような課題をひとつひとつ洗い出しながら、郷づくりのあり方について見直していくという作業を進めていきたい」と締めてあるが、各委員さんが、これがうちの課題だという話を、いつのタイミングでどう整理して、代表者会議のみなさんに、第1回の会議録のほうからこれが課題になりました、このような方法で片付けていきたいというのがどこにもないため、ぜひ整理していただきたい。また、郷づくりの立ち位置が曖昧だという話があるが、まちづくりが始まって20年積み重ねた良さと悪さがあると思う。これをどう片付けていくかというのも最大の課題だと思う。自治会長は、自治会から選出されたかたであるが、郷づくりの役員は選出された土壌がなにも一緒ではない。同じ土俵の中にありながら、選出された環境が違う。自治会については、地域住民のかたも会員だと思っているが、郷づくりの会員であるとはだれも思っていない。そういう根本的なところの整理もできていないのに、何とかをしますと言われても、私たちから見るとぴんとこない。まずは、8地域が同じ土俵になれるように整理することが原点ではないかと思う。部分部分を改訂するとますますゆがんだ方向に広がってしまう。郷づくりは全部福津市の交付金で運用しているのだから、こんなスタイルでやってくださいというのがないと、郷づくりで声の大きい人が、自分はこっちに向くんだという、全部そっちを向いてしまう。そういう意味で、整理の仕方をよくご検討いただきたい。

(会長)

先日配られたアンケート結果に基づいて、明確にどこが課題でどういった郷づくりを目指したいというようなことを、各郷づくりでも一度整理し、伝える必要があるのだろうなと思っている。

(まちづくり推進室)

市としては議論が一方通行になるのは一番避けたい。協議会の皆さんの意見等も本日もいろいろいただいているところなので、共働推進会議にも伝え、検討の材料にしていきたいと思う。市のほうで一定の方向性をというご意見や、地域の独自性を尊重したいということもあると思うので、この辺はバランスを取りながら、いかに地域が活性化していくかの方向を探っていきたくて考えている。

(委員)

次回の共働推進会議の日程はいつか。

(まちづくり推進室)

8月5日(金)を予定している。

(委員)

共働推進会議は2年間あるということなので、代表者会議のなかで課題整理のようなことを、各郷づくりから地域の実情に応じて出し、共働推進会議のほうに、審議する重要な情報として活かされるような形ができればありがたいと思う。会長の意見に賛同する。

(会長)

郷づくりの事業活動のほうに時間を追われて、なかなか各協議会の中で、自分たちの活動や課題に真剣に向き合う時間が持てていなかったように思う。なかなか自分ひとりの思いと、若い人に同じように活動しましょうと言っても、今は大変な時代なので、仕事よりも地域活動が優先ということができないのは当然のことであるが、その中でも、地域の中の人間として何ができるか、考えていかなければいけないと思う。共働推進会議が進むということは、私も各郷づくりの会長も大きな宿題を背負う部分もあるが、この2年間の間に、集中して取り組むことが一番いいのではないかと思う。

8月5日の共働推進会議が始まるまでに、8つの郷づくり協議会のほうで、このことが課題であるということをもとめて、今日の意見も含めて出せるようにしたいと思うがどうか。

(まちづくり推進室)

8月5日の審議会の中で、具体的にどう審議を進めるかという話はそこからするが、どういうふうには郷づくり協議会のかたの意見を共有していくかということも決めていきたいと思っているので、決まり次第連絡をさせていただこうと思っている。

(委員)

共働推進会議のメンバーの皆さんには、各地域が作成した郷づくり計画は配布しているのか。一年かけて作り上げたこの郷づくり計画に、かなり詳しく人口動態や各郷づくりの課題、今何を重点的にやろうとしているのかが書いてある。時間がないということであれば、この8つの郷づくりの各計画を十分に読み込んでもらう、説明をしてもらうというのも一つの手だと思う。

(まちづくり推進室)

郷づくり計画については具体的に第2回目で触れる予定にしており、その前に、8地域の郷づくり計画を委員の皆さんに配布し、説明する予定にしている。おっしゃる通り、郷づくり計画に現状や課題やどういうビジョンを持って進めてあるかというのが凝縮されているので、それを手厚く説明するのがいいと思っている。その上で、プラスで必要なお意見があればいただくという方法も、確かにひとつの方法だと思う。

(会長)

各地域の課題や特性を書き込めるフォーマットを作成し、そこに書き込んで事務局のほうに返信するようなことも、追加であってもいいのか。

(まちづくり推進室)

年度替わりに、協議会の皆さんにご協力いただいて作成している郷づくり活動計画や、名前は出さないが役員さんの名簿、組織図は共働推進会議の中でも第2回目で共有をするように予定している。郷づくり計画をベースとし、プラスアルファの部分は、今会長からご提案いただいたようにフォーマットを作り、そこに書いていただくのもひとつの方法かと思うため、そこも含めて検討する。

(会長)

フォーマットに意見を記入する方法以外に、思いつく方法があれば教えてほしい。

(委員)

今回の基本構想の見直しにあたり、やはり郷づくりのそれぞれの現状を把握しながら評価し、それを前提として見直すことが必要ではないかと思う。8地域あるので、2日に分けて郷づくりの代表のかたに指摘をいただき、地域の現状や、こういうことに困っているなどの生の声を伝えていただき、それを踏まえて審議していただくというシステムを作ったほうが、より実態に合った見直しになると思う。8月5日以降でもいいと思うので、そういう場を持ちながら進めていっていただきたい。

(会長)

共働推進会議の回数は決まっているのか。会議とは別に意見交換会は可能なのか。

(まちづくり推進室)

会議の回数は決まっているが、今回こうした意見があったということは、共働推進会議の会長に伝え、可能であればそうした機会を設けられたらと考えている。ご意見のあった内容については、検討させていただく。

(委員)

郷づくりの現状や課題を直接述べるような機会を設けたらという意見には賛同するが、見える化するという意味で、フォーマットについても検討いただければなおいいと思う。

(会長)

以上で説明事項は、終わりにさせていただきます。

3. その他

(委員)

交流センターの利用人数に制限をかけているが、そのあたりの市としての考えはあるか。

(まちづくり推進室)

全市的な対応は、国や県の対応を注視しながら、コロナ対策本部で決定することになっているが、今のところ具体的な制限は出ていない。

(会長)

以上で郷づくり推進協議会代表者会議を終了する。